平成２９年度　上五島地区特別支援教育コーディネーター連絡協議会実務者会

班別研修D班

『校内支援委員会の在り方』

　　　　　　D班参加校

　　　　　　A中学校・・・・・P.2

　　　　　　　　　　　　　B中学校・・・・・P.３

　　　　　　　　　　　　　C小学校・・・・・P.４～５

　　　　　　　　　　　　　D小学校・・・・・P.６

　　　　　　　　　　　　　E小学校・・・・・P.７

　　　　　　　　　　　　　F小学校・・・・・P.８～９

平成２９年度　【　A中学校　】　の校内支援委員会の実施状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ※特別支援学級１クラス（知的障害）４名在籍  ※個別支援・個別指導計画作成者　６名  ◎校内支援委員会　　１学期は開催なし。　　２学期より生徒指導委員会と兼ねる。（毎週実施）  【　校長・教頭・特別支援教育コーディネーター・生徒指導主事・養護教諭・学年主任　】 | | |
|  | 生徒指導委員会・校内支援委員会 | 校内研修・その他 |
| ４月 |  | 特別な支援を必要とする生徒の共通理解  （引継ぎ・全学級） |
| ５月 |  |  |
| ６月 |  |  |
| ７月 |  | 「A中学校における特別支援教育について」  １　上五島地区特別支援教育コーディネーター連絡協議会の伝達事項（上五島分教室教育相談・特別支援学校入学者選考検査・個別の教育支援計画、指導計画説明）  ２　各学年での生徒のピックアップ（支援計画が必要な生徒・学校生活で困り感の見られる生徒） |
| ８月 |  | （個別の教育支援計画・指導計画の作成完了） |
| ９月 | ※９月より、特別支援教育コーディネーターとして、生徒指導委員会に参加  ・気になる生徒について（全学級） | 【校内研修】「２学期からの特別支援教育について」  １　７月の各学年からのピックアップされた生徒の共通理解  ２　２学期の支援の方向性について  ３　上五島分教室への教育相談予定者について |
| １０月 | ・気になる生徒について（全学級） | 上五島分教室コーディネーターによる授業参観（３名） |
| １１月 | ・気になる生徒について（全学級） | 上五島分教室コーディネーターによる発達検査（２名） |
| １２月 | ・気になる生徒について（全学級） | 上五島分教室コーディネーターによる結果報告・保護者面談（２名） |
| １月 | ・気になる生徒について（全学級） | 【校内研修】「特別支援教育の校内体制づくりについて」  　　　　　　※養護教諭と連携 |
| ２月 | ・気になる生徒について（全学級） |  |
| ３月 | ・気になる生徒について（全学級） | 個別の教育支援計画、指導計画の評価  新担任や進学先への引継ぎ |

　◎校内支援委員会のもち方（流れ）について

【生徒指導委員会と同じ】

　１　各学年の情報交換

　２　特別支援教育コーディネーターより

　３　養護教諭より

　４　生徒指導担当より

　５　教頭・校長より

平成２９年度　【　B中学校　】　の校内支援委員会の実施状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ※特別支援学級なし  ※個別支援・個別指導計画作成者　４名  ◎校内支援委員会　　設置していない（その代わり、次の２つで対応している）  ○学級担任部会　週１回（→毎週金曜日の職員朝会で全体に報告）  　　　　　　　　メンバー：校長、教頭、生徒指導主事、担任、養護教諭、特別支援教育コーディネーター  ○学期始めと終わりの職員会議　　メンバー：全職員 | | |
|  | 学級担任部会 | 学期始め・学期末職員会議 |
| ４月 | ・生徒の情報交換 | ・配慮を要する生徒の確認、気になる生徒の共通理解  ・B中学校スタンダードの確認 |
| ５月 | ・生徒の情報交換 |  |
| ６月 | ・生徒の情報交換 |  |
| ７月 | ・生徒の情報交換 | ・配慮を要する生徒の確認、気になる生徒の共通理解 |
| ８月 |  | ・配慮を要する生徒の確認、気になる生徒の共通理解 |
| ９月 | ・生徒の情報交換 | ・配慮を要する生徒の確認、気になる生徒の共通理解 |
| １０月 | ・生徒の情報交換 |  |
| １１月 | ・生徒の情報交換 |  |
| １２月 | ・生徒の情報交換 | ・配慮を要する生徒の確認、気になる生徒の共通理解 |
| １月 | ・生徒の情報交換 | ・配慮を要する生徒の確認、気になる生徒の共通理解 |
| ２月 | ・生徒の情報交換 |  |
| ３月 | ・生徒の情報交換 | ・配慮を要する生徒の確認、気になる生徒の共通理解 |

　◎校内支援委員会のもち方（流れ）について

　○次の順番で情報交換をする。必要に応じて対応について話し合う。

　　①学級担任から（学級の諸問題、気になる生徒など）

　　②養護教諭から（保健室での様子など）

　　③特別支援教育コーディネーターから（配慮を要する生徒、TTの授業の様子・課題など）

　　④管理職から

平成２９年度　【　C小学校　】　の校内支援委員会の実施状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ※特別支援学級１クラス　知的１名が在籍  ※個別支援・個別指導計画作成者　５名  ◎校内支援委員会　　学期に１回を基本とする  　　　　　　　　校長、教頭、教務、特別支援教育コーディネーター、養護教諭、関係児童担任  　　　　　　　　※学習補助員、専科担当にはCoが確実に伝える  ○児童理解の会　毎月第４水曜日　１５：３５～１６：３０ | | |
|  | 児童理解の会 | 校内支援委員会 |
| ４月 | ・特別な支援を必要とする児童の共通理解をする。（引継ぎ・全学級） |  |
| ・生活目標の反省と気になる児童について（全学級） |
| ５月 | ・生活目標の反省と気になる児童について（全学級） |  |
| ６月 | ・生活目標の反省と気になる児童について（全学級） |  |
| ７月 | ・生活目標の反省と気になる児童について（全学級） |  |
| ８月 |  | ・個別の教育支援計画、個別の指導計画作成者５名について、１学期の支援の成果と課題、２学期に向けての支援策等を共通理解した。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　**（第１回）** |
| ９月 | ・生活目標の反省と気になる児童について（全学級） |  |
| １０月 | ・生活目標の反省と気になる児童について（全学級） |  |
| １１月 | ・生活目標の反省と気になる児童について（全学級） |  |
| １２月 | ・気になる児童について（全学級） | ・個別の教育支援計画、個別の指導計画作成者５名について、２学期の支援の成果と課題、３学期に向けての支援策等を共通理解した。  ・気になる児童２名（担任から相談あり）について、支援の手立てと今後の方策等を話合い、共通理解した。　　　　　**（第２回）** |
| １月 | ・生活目標の反省と気になる児童について（全学級） |  |
| ２月 | ・生活目標の反省と気になる児童について（全学級） |  |
| ３月 | ・生活目標の反省と気になる児童について（全学級） | ・引継ぎに関わる事項の整理と共通理解　　　　　　**（第３回）** |

◎校内支援委員会のもち方（流れ）について

　１　個別の教育支援計画、個別の指導計画作成児童の担任に話合いの内容と時間割を紙面で知らせておく

　２　全体会：特別支援に関わる情報の提供、今回の支援委員会の内容のお知らせ

　３　支援委員会：担任の説明（手立ての成果）

**事前に専科担当、学習補助員からも情報を得ておき、この場で伝える。**

　４　その他の職員からの気付き、意見

　５　担任が困っていることや児童の課題

　６　その他の職員からの気付き、意見

　７　話合いの内容を確認・まとめ

　　　※３～７をそれぞれ児童ごとに行う。

　８　事前に担任からの相談のあった児童について５～７の流れですすめる。

◎所感

・気になる児童ほど、担任以外の職員と関わることが多い。直接関わりがある担任以外の職員からの情報はとても

貴重。しかし、時間外のため校内支援委員会に出席できない職員もいる。Coは調整役として、情報収集と情報伝達を密に行う必要がある。

　・関連のない職員、校内支援委員会に出席しない職員には、伝達する必要はないのか。

　・その場で適切な支援策が出にくい場合もある。

　・支援委員会の中での時間配分が難しい。

平成２９年度　【　D小学校　】　の校内支援委員会の実施状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ○完全複式  ○特別支援学級２クラス（情緒１名、知的１名）  ○個別支援・個別指導計画作成者　５名  ◎校内支援委員会　　毎月第４火曜（水曜）に実施（全職員）  ○情報交換会　　　　毎週木曜日の連絡会の後に実施（全職員） | | |
|  | 校内支援委員会の内容 | 備考 |
| ５月 | ○個別の教育支援計画の作成についての説明  ○支援が必要な児童についての共通理解 |  |
| ６月 | ○訪問支援を受けての指導助言について確認 | ６月上旬に教育センターの訪問支援を受けたので、臨時で実施。 |
| ○作成した個別の指導計画についての共通理解 |
| ７月 | ○１学期の気になる児童についての情報交換  　（生活指導の会の併せて実施） |  |
| ９月 | ○支援が必要な児童についての情報交換 |  |
| １０月 | ○出張報告（特別支援教育スキルアップ研修会）  ○検査を受けた児童への具体的な手立てについての共通理解 |  |
| １１月 | ○次年度から特別支援学級へ措置変更する児童についての共通理解（保護者の思い、今後の支援の方向性、今年度中に準備しておくこと　等） |  |
| １２月 | ○２学期の気になる児童についての情報交換、成果と課題について  　（生活指導の会と併せて実施） |  |
| １月～ | ○次年度から特別支援学級へ入級予定児童に支援学級での学習を経験させる。その時の児童の様子や準備しておいた方がよいことについて話し合う。  ○今年度の成果と課題、次年度の支援の方向性についての共通理解（個別の指導計画をもとに） |  |

＜今年度の校内支援委員会を振り返って＞

　○支援が必要な児童を中心に全職員で共通理解ができてよかった。

　○個別の教育支援計画・指導計画の作成について、年度初めの早い時期に説明するべきだった。

　○担任の先生方に対して、支援に関する役立つ情報の提供が十分にはできなかった。

平成２９年度　【　E小学校　】　の校内支援委員会の実施状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ※特別支援学級２クラス（情緒１名・知的４名）  ※個別支援・個別指導計画作成者　６名  ◎校内支援委員会　　必要に応じて  　　メンバー：校長、教頭、特別支援教育コーディネーター、関係児童担任、（養護教諭：必要に応じて）  ○子ども支援研修会　毎月第４月曜日　　１５：１５～１６：１５ | | |
|  | 子ども支援研修会 | 校内支援委員会 |
| ４月 | ・特別な支援を必要とする児童の共通理解  ・アレルギーなどのある児童の共通理解  ・生活目標の反省と気になる児童の情報交換（全学級） |  |
| ５月 | ・生活目標の反省と気になる児童の情報交換（全学級） | ・特別支援学級在籍児童５名の共通理解と今年度の支援について |
| ６月 | ・生活目標の反省と気になる児童の情報交換（全学級） |  |
| ７月 | ・生活目標の反省と気になる児童の情報交換（全学級） | ・保護者面談のとき、学力面で心配されていた児童Aへの今後の対応について |
| ９月 | ・生活目標の反省と気になる児童の情報交換（全学級） |  |
| １０月 | ・生活目標の反省と気になる児童の情報交換（全学級） | ・児童Aの検査結果の説明と今後の対応について |
| １１月 | ・生活目標の反省と気になる児童の情報交換（全学級） | ・特別支援学級在籍児童（情緒）が冬になると不安定になることへの対応について |
| １２月 | ・生活目標の反省と気になる児童の情報交換（全学級） |  |
| １月 | ・生活目標の反省と気になる児童の情報交換（全学級） |  |
| ２月 | ・生活目標の反省と気になる児童の情報交換（全学級） | ・特別な教育的支援を要する児童の進学について（引継ぎ） |
| ３月 | ・生活目標の反省と気になる児童の情報交換（全学級） |  |

**◎校内支援委員会のもち方（流れ）について**

１　今回の趣旨について説明（Co）

２　担任から当該児童の状況について説明

３　質疑応答

４　今後の対応について協議し、決定する

　　※話しただけで終わらないように必ず今後何をするか決める。

（内容により）

５　決定事項を全職員に知らせ、共通理解を図る

※次年度に引き継げるよう、全校児童について「個別支援カード」を作成し、学習・対人・行動について記入し

ている（長期休業中当を利用して）

平成２９年度　【　F小学校　】　の校内支援委員会の実施状況

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| ※特別支援学級３クラス（情緒２名・知的４名・肢体１名）７名が在籍  ※個別支援・個別指導計画作成者　９名（特支学級児童７名、通常学級児童２名）  ◎校内支援委員会　　毎月１回を基本とする  　　　　　　　　校長、教頭、教務、特別支援教育コーディネーター、養護教諭、生活指導主任、  特別支援学級担任、関係児童担任  ○生活指導委員会　毎月第４水曜日　１５：３０～１６：３０　全職員 | | |
|  | 生活指導委員会 | 校内支援委員会 |
| ４月 | ・特別な支援を必要とする児童の共通理解をする（引継ぎ・全学級） |  |
| ・生活目標の反省と気になる児童についての情報交換・共通理解（全学級） |
| ５月 | ・生活目標の反省と気になる児童についての情報交換・共通理解（全学級） | ・特別支援学級の児童７名について、特性と困難さの解消に向けた方策や全職員での関わり方などについて共通理解した。  ・欠席が続いている児童への対応について共通理解した。  **（第１回）** |
| ６月 | ・生活目標の反省と気になる児童についての情報交換・共通理解（全学級） | ・特別支援学級児童の個別の教育支援計画・指導計画について、よりニーズに合った支援ができるように検討した。**（第２・３回）** |
| ７月 | ・なかよしアンケートの結果報告と共通理解（全学級） |  |
| ９月 | ・生活目標の反省と気になる児童についての情報交換・共通理解（全学級） | ・７月の発達検査（Wisc）の結果を受け、特別支援学級児童２名への支援の方向性や適切な学びの場について検討した。  **（第４回）** |
| １０月 | ・生活目標の反省と気になる児童についての情報交換・共通理解（全学級） | ・言動が気になる通常学級在籍児童２名の状況報告と支援の在り方について共通理解した。　　　　　　　**（臨時・第５回）** |
| １１月 | ・生活目標の反省と気になる児童についての情報交換・共通理解（全学級） | ・通常学級在籍児童２名の個別の教育支援計画・指導計画について検討し、特性の困難さの解消に向けての方策、全職員での関わり方などについて共通理解した。　　　　　　**（第６回）** |
| １２月 | ・なかよしアンケートの結果報告と共通理解（全学級） |  |
| １月 | ・生活目標の反省と気になる児童についての情報交換・共通理解（全学級） | ・不登校児童（特別支援学級）への今後の対応について協議する。  ・転入生児童について共通理解する。　　　　　　**（第７回）** |
| ２月 | ・生活目標の反省と気になる児童についての情報交換・共通理解（全学級） | ・個別の教育支援計画、指導計画を作成した９名の児童について、具体的方策の成果や課題を協議し、次年度の方向性について確認する。　　　　　　　　　　　　　　　　　**（第８回）** |
| ３月 | ・次年度に向けての引継ぎ（全学級） |  |

**◎校内支援委員会の運営（流れ）について**

　【目的】

　　◎気になる児童に対する理解を深めていくために、全職員による多方面からの情報収集を行い、児童の状況（学習面・行動面）をより詳細に把握するとともに、当該児童に合った支援方法を検討する場とする。

|  |  |
| --- | --- |
| 構成員 | 校長、教頭、教務、特別支援教育コーディネーター、養護教諭、生活指導主任  特別支援学級担任、関係児童担任 |

　①報告相談を受けた児童について協議を行い、できる限り支援策を立てるようにする。

　　→状況が改善された場合は、その支援を継続し、難しい場合には次回の委員会で検討する。

　②個別の教育支援計画・指導計画に基づいた支援の効果や児童の状況等を確認し、改善点を検討する。

|  |  |
| --- | --- |
| **定　例　会（月１回）** | ◎実態把握：気になる児童の状況把握と情報収集〔各担任・CO〕  　　　　　 個別の教育支援計画・指導計画作成〔各担任〕  ◎情報提供：気になる児童について情報報告  　　　　　〔全職員→CO〕  ◎関係機関との連携：必要に応じて〔CO〕 |
| 資料作成（各担任）  直前に資料配付（CO）  １　　今回の内容のお知らせ（CO）  　　　　　　　　　　　　↓  　 ２　　担任からの報告・説明  　　例 ・児童の様子や困り感について  　　　　・（前年度の反省を受けての）課題と方策  　　　　・実践後の評価と課題  　　　　　　　　　 ↓  　 ３　　関わりがある教師からの補足や気づき  　　　　　　　　　 ↓  　 ４　　担任へのアドバイス  ↓  　 ５　　全職員で共通理解すべきことの確認  　　（CO）  　　　　　　　　　　　　↓  　　　　　　　２～５を数名分繰り返す  　　　　　　　　　　　　↓  　　　　６　　共通理解事項の再確認（CO）  　　　　　　　　　　　　↓  　　　　　　　　　（資料の処分）  　　　　　　　　　　　　↓  話し合われた内容・状況について、共通理解が必要な場合は、連絡会等で報告する。（CO） |
| **臨　時　会** |
| ＊日時は状況に応じて設定する。  ＊基本的に、校内支援委員会のメンバーで行う。  ＊その後、必要に応じて全職員による会を設定する。  ＊指導の手立てとしては、「誰が」「どこで」「どの時間に」「どのように」など、具体的に検討する。  ＊状況によっては、保護者と連絡を取り合い、学校と家庭の双方からの支援を行うようにする。 |